

＝岐阜高専＝

第2回FD講演会を開催

岐阜高専は、10月11日（水）、「第2回FD講演会」を同校多目的ホールにおいて開催した。本講演会は、魅力ある授業の計画および実施への取り組み事例を紹介することにより、受講者の意識向上を図ることを目的としたFD研修として、年間2回の開催が計画されている。

今回は、都城工業高等専門学校物質工学科の黒田恭平助教と長岡技術科学大学教育方法開発センター長の市坪誠教授による「アクティブ・ラーニングの四つの視点」と題した講演が行われ、46名の教職員が参加した。

本講演会では、アクティブ・ラーニング型授業を“実際にやってみる”，“できるようになる”ポイントについて四つの視点を踏まえて解説があった。また、アクティブ・ラーニング型授業を“実際にやってみた”体験を基に、授業内での発問・発話、FD マネジメントの重要性、これらに付随する「学生の伸び」に関する情報共有が行われた。

講演終了後には活発な質疑と意見交換が行われ、同校教職員の授業改善についての意識が一層深まる良い機会となった。



長岡技術科学大学教育方法開発センター長 市坪誠教授



1. 導入：到達目標提示，既習事項の共有・振り
2. 講義：クラス全体で新たな学習内容を学ぶ
3. 問題提示：新たに学んだ内容を使い、問題解
-個人学習
-ペアワーク
-グループワーク
4. クラスで共有：グループワークで行った問題
方法などを共有
5. 到達目標の振り返り：学習内容の定着、理解

参考資料：授業力アップ アクティブラーニング、グループ学習・ICT活用・P

都城工業高等専門学校物質工学科 黒田恭平助教